

025

防災・減災スタンプラリー

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
シヤチハタ株式会社	363 名	地震等	宮城県ほか

印章・スタンプ・文房具等を製造するシヤチハタ株式会社がスタンプを使った防災・減災スタンプラリーを開発し、災害時の適切な行動を楽しみながら学ぶことと自社製品の PR とを両立した仕組みとしている。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

小学校の体育館や実際の避難経路で、スタンプラリーを行いながら、防災・減災の知識を学ぶ

- ・ 印章・スタンプ・文房具等を製造するシヤチハタ株式会社では、スタンプを使った防災・減災に効果的なプログラム「防災・減災スタンプラリー」を東北大学と共同開発した。
- ・ 第一弾として平成 29 年 9 月に津波が来る恐れがある地域にあわせた海岸部バージョンを発売、第二弾として平成 30 年 9 月に土砂災害の恐れがある地域にあわせた山間部バージョンを発売している。
- ・ スタンプを押しながら避難経路を回り、楽しく防災・減災の知識を学ぶことができるよう、スタンプラリーでは、クイズを出し、災害への備え・被害を低減させるための行動を自分で考え、実践する力を育むことができるよう工夫されている。



スタンプラリー台紙

防災・減災スタンプラリーの使い方

- ・ 小学校の体育館等の実際の避難経路にチェックポイントを設置し、スタンプラリーを行いながら、防災・減災の知識を学べる仕組みとなっている。スタンプラリーのチェックポイントには、設問パネル、回答パネルと回答スタンプがあり、参加者は専用台紙にスタンプを押しながら災害時の避難行動を“疑似体験”していく。避難行動を疑似体験することで、災害時に役立つ「柔軟でその場に対応した判断力」を養うことを狙っている。
- ・ 各設問パネルに対する回答スタンプは、「自立タイプ（自助）」「協力タイプ（共助）」「支援タイプ（公助）」の 3 種で色分けされており、集まったスタンプの色によって自分の“防災タイプ”がわかることに加え、「自助」「共助」「公助」の考え方についても学ぶことができる。

#01 内陸・山間部

いざという時、
全員が身の安全を守るためには、
どうすればいいか考えてみよう。

#01 In Mountain Areas
What should we do to protect everyone's safety
when an emergency occurs?

#01 スタンプを選ぼう！ Actions

赤：自立タイプ（自助）
自分の安全は、
自分で守る力を有し
自立して災害に向かうアクション。

緑：協力タイプ（共助）
周りの人々と連携・協力して
災害に対応するアクション。

青：支援タイプ（公助）
より多くの人を災害から
守るために国や社会による、
より良い支援や援助について
考えるアクション。

防災タイプ

- 「赤」が多い人 自分の安全は自分で守る。自立して災害に向き合うタイプ。
- 「緑」が多い人 周りの人々と連携・協力して、災害に対応するタイプ。
- 「青」が多い人 より多くの人を災害から守るために、国や社会による、より良い支援や援助について考えるタイプ。

設問パネルと回答パネル

“防災タイプ”がわかるスタンプ

大学との共同開発

- 同社では自社製品を使ったスタンプラリーの活用法を考えている中で、防災に役立てられるのではないかと考え、防災学の最先端に行く東北大学に話を聞きに行き、共同開発を行うことへとつながった。
- 実際の開発にあたっては、防災が専門の災害科学国際研究所に加え、スマート・エイジング学際重点研究センターとも連携し、教育心理学の最新知見を災害教育に応用し、体験学習していくことで達成感を感じながら、楽しく学ぶことができるよう設計されている。

2 取組の平時における利活用の状況

- 同社では、学校等での防災・避難訓練において、このスタンプラリーが取り入れられることにより、平時からの防災意識の向上等につながることを想定している。

●福島市立佐倉小学校	●いわき市立久之浜第一小学校	●南三陸町立入谷小学校	●登米市立柳津小学校	●猪苗代町立猪苗代小学校
●古殿町立古殿小学校	●南会津町立館岩小学校	●南相馬市立八沢小学校	●石巻市立鮎川小学校	●花巻市立笹間第二小学校
●鮎川村立鮎川小学校	●奥州市立衣川小学校	●美里町立不動堂小学校	●宮古市立藤原小学校	●岩沼市立玉浦小学校 など
●雫石町立雫石小学校	●大船渡市立猪川小学校	●角田市立東根小学校	●普代村立普代小学校	

防災・減災スタンプラリー実施校の例

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社では、現在「海岸部バージョン」「山間部バージョン」の 2 種類の商品を販売している。今後はより多くの人に活用してもらえるよう、都市災害に対する防災・減災意識を高める「都市部バージョン」の開発に取り組む予定としている。

4 周囲の声

- 防災・減災スタンプラリーには、従来からの災害教育に一石を投じるアイデアが随所に盛り込まれている。過去の災害での対応・行動を科学的に分析し、一人一人が潜在的にもっている防災・減災の力を向上させる仕組みになっている。この取組を通じてひとりでも多くの人が、災害が発生したその後に、どんなことが起こるのか・自分は何をすべきかをイメージし、適切な判断をする力を養えることを期待している。（学識経験者）
- 防災・減災スタンプラリーは、将来起こりうる自然災害の被害を、どうすれば軽減できるのか目標を立て（Plan）、スタンプを押しながら自分の考えを可視化し（Do）、グループ全員で振り返る（See）というように、自己調整学習にもとづいて構成されている。防災・減災スタンプラリーを通じた災害教育は、参加者の防災・減災意識を高めることができ、自ら学ぶ力を育む効果があると期待できる。（学識経験者）

問合せ先

シヤチハタ株式会社 スタンプラリーお問い合わせ窓口

https://www.shachihata.co.jp/stamprally_service/contact/contact.php